令和5年度第2回 埼玉県多文化共生推進会議

令和6年2月7日(水)

令和5年度第2回埼玉県多文化共生推進会議 次第

日時:令和6年2月7日(水)14:00~15:30

場所:オンライン(Zoom)

- 1 開会
- 2 議事
 - (1)埼玉県多文化共生推進プランの進捗状況について
 - (2) 多文化共生を推進する人材(外国人お助けボランティア)フォローアップ調査結果について
 - (3)令和5年度外国人住民意識調査結果について
- 3 閉会

(1) 埼玉県多文化共生推進プランの進捗状況について

基本指標: 多文化共生を推進する人材の育成数

目標値 5,000人(令和4年度~令和8年度の累計)

年度	育成数
令和4年度実績	1,173人
令和5年度見込	約1,100人
計(見込)	2,273人

(2)多文化共生を推進する人材(外国人お助けボランティア)フォローアップ調査結果について

調査方法

期間:令和5年10月12日(月)~11月17日(金)

目的: 研修受講者の外国人支援の活動状況の把握

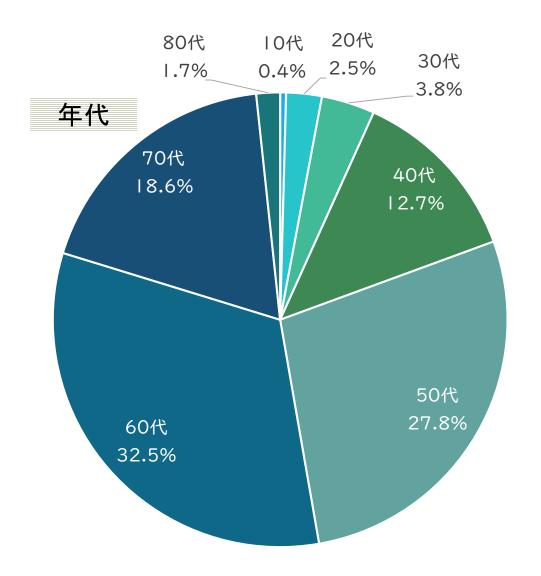
対象: 令和4年度に認定した外国人お助けボランティア 計680人

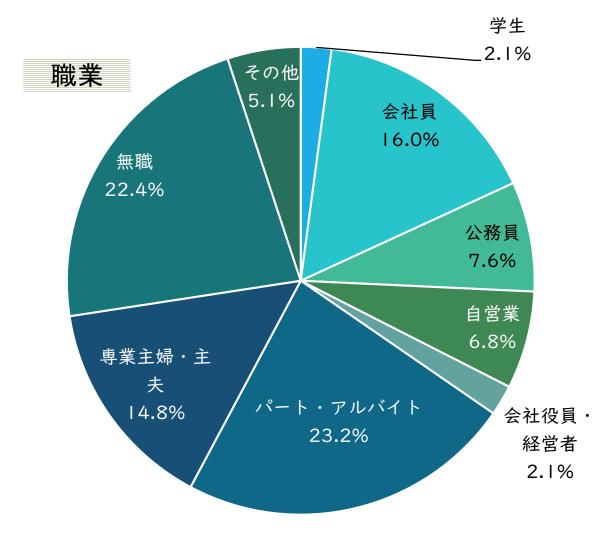
方法:電子申請システムフォームをメールで送付

回答者数

237人(約35%)

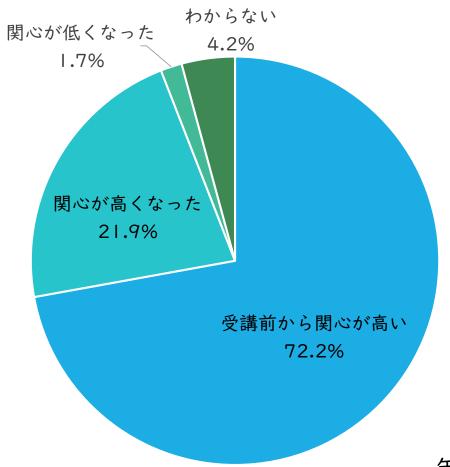
● 回答者属性



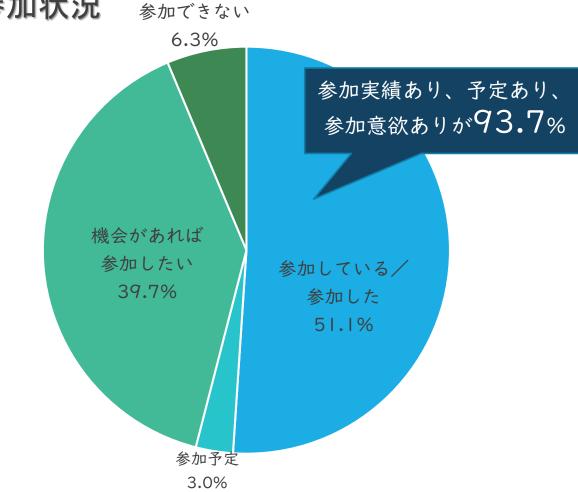


※回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記載しており、合計が 100%にならない場合があります。

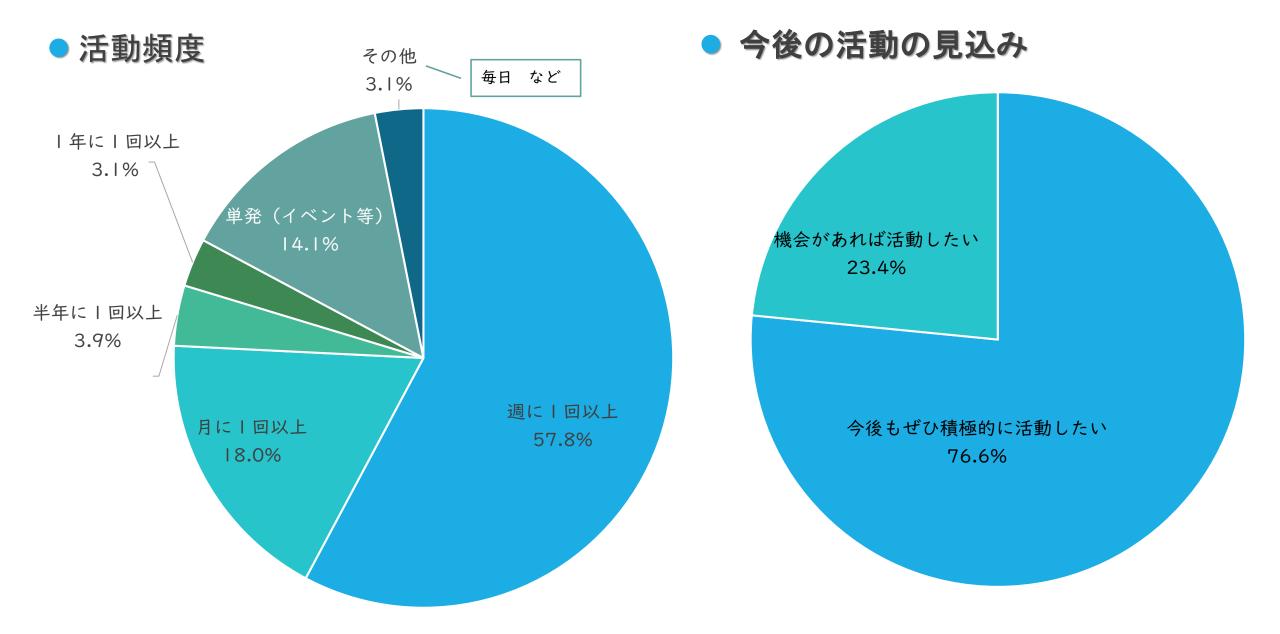
受講前と比べた外国人との交流や 多文化共生への関心度について



外国人との交流やボランティア活動等への参加状況 参加できない

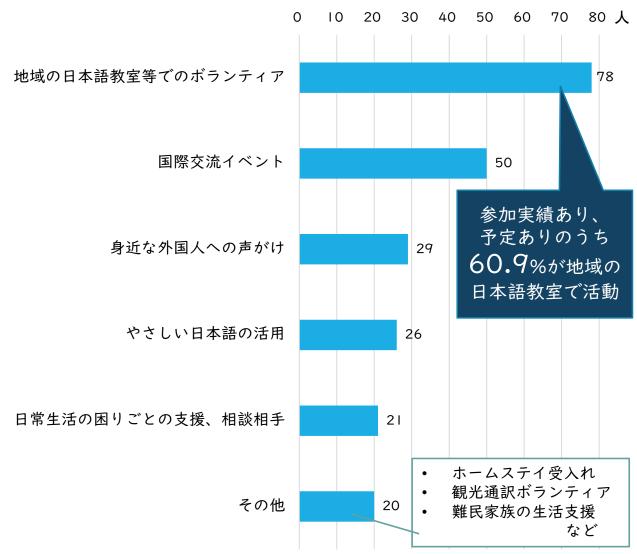


年代別に見ると、活動に参加している/参加予定の回答者の割合は70代で72.7%、60代が61.0%で60~70代は特に活動参加率が高い。



※交流や活動に参加している/参加した/参加予定の回答者のみの設問

●活動内容 (複数回答可)

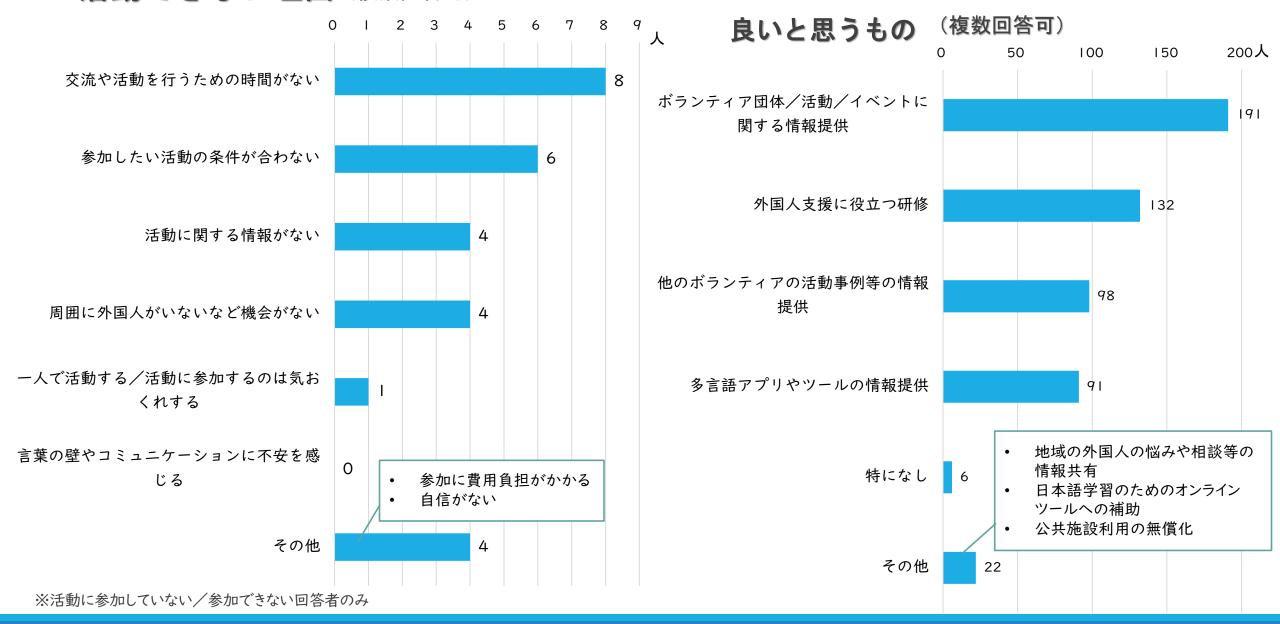


● 感想、交流・ボランティアを行った相手からのコメント

- 身近な外国人への声がけなどをしており、「ごみの分類方法 を教えてもらって助かる」と言われることが多い。
- 職場で外国人の方と話す機会が多いため「やさしい日本語」 で話すよう心がけており、相手からの反応も良い。
- 寄席や趣味のイベントに誘ったり、日本企業の習慣に答えたりしていて「日本がだんだんわかってきて精神的に楽になった」と言われた。
- 地域の日本語教室等でのボランティアをしているが、日本語がわからず日本語教室でしか話せなかった子が、友達ができて学校生活を楽しんでいる様子を見ると嬉しくなる。
- 日本語教室で、日本語だけでなく料理や絵本などを通して日本文化に触れてもらっている。「日本人の話していることの意味がわかるようになった」と喜ばれている。

活動できない理由 (複数回答可)

●交流や活動参加、継続のためにあれば



・来年度に向けて

- 研修参加者獲得及び活動参加につながる人材をさらに獲得するため、幅広い層に呼びかける。
- 若い世代の多文化共生を推進する人材育成に向けた手段を検討する。
- 研修参加者を活動参加につなげるため、多文化共生ボランティア登録システムへの登録を勧奨する。



			ページ:1/3 件数:30件
募集者	募集イベント等名称	開催場所	開催日時
国際交流フォーラム実行委員会事 務局	第29回所沢市国際交流フォーラムのボランティアスタ ッフを募集します	所沢市役所 1階市	2024-03-10~2024-03-10
上尾市市民協働推進課	令和5年度多文化共生ボランティア講習会の受講生を 募集します	①1日目の講義 上	2024-01-09~2024-02-04

【多文化共生ボランティア登録システム】

- 研修参加者のみ登録可能なシステム。
- 登録者に対して、メールでボランティア 募集やイベントの情報を配信する。
- 配信されるのは市町村、国際交流協会 やNPO等からの情報。

(3)令和5年度外国人住民意識調査結果について

調査方法

期間:令和5年10月2日(月)~令和5年11月30日(木)

対象: 埼玉県内在住の外国人住民

方法:電子メール、郵送、電子申請による調査

市町村窓口、埼玉日本語ネットワークで日本語教室、

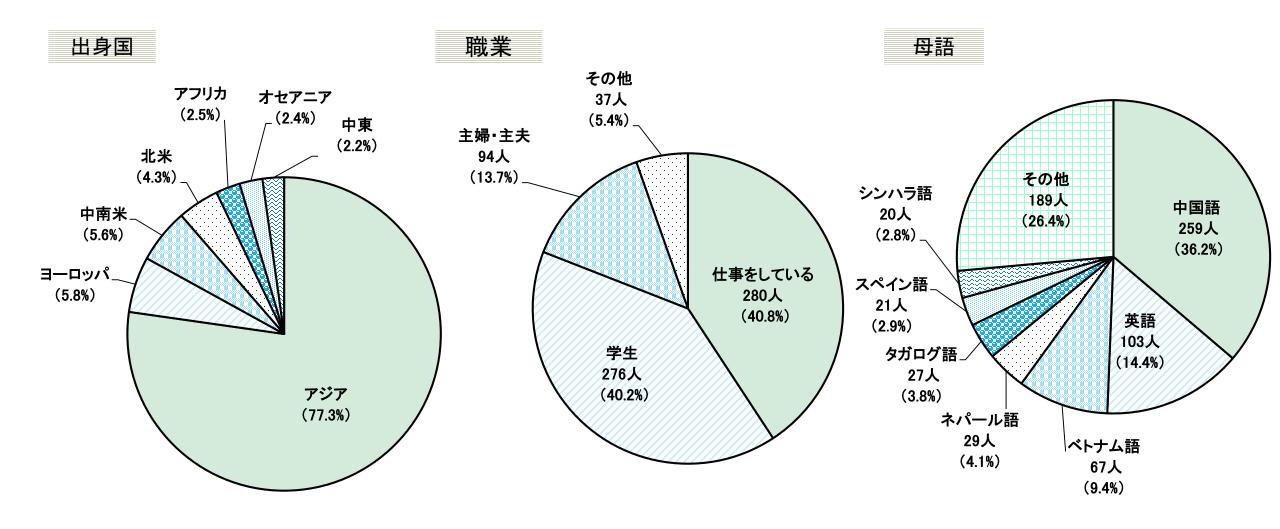
留学生推進協議会、埼玉県経営者協会等に周知協力依頼(無作為抽出ではない)

言語: やさしい日本語、英語、中国語

回答者数

683名(63の国と地域)

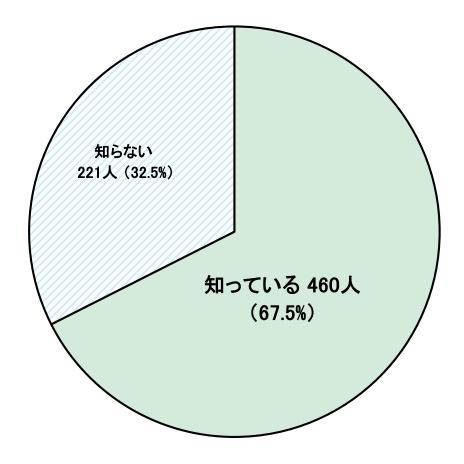
○回答者属性



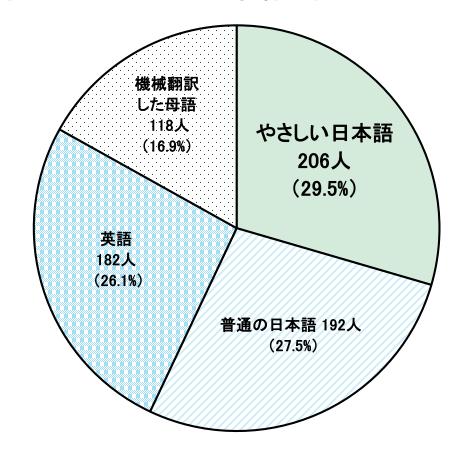
※回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記載しており、合計が 100%にならない場合があります。

〇やさしい日本語について

• やさしい日本語を知っていますか。



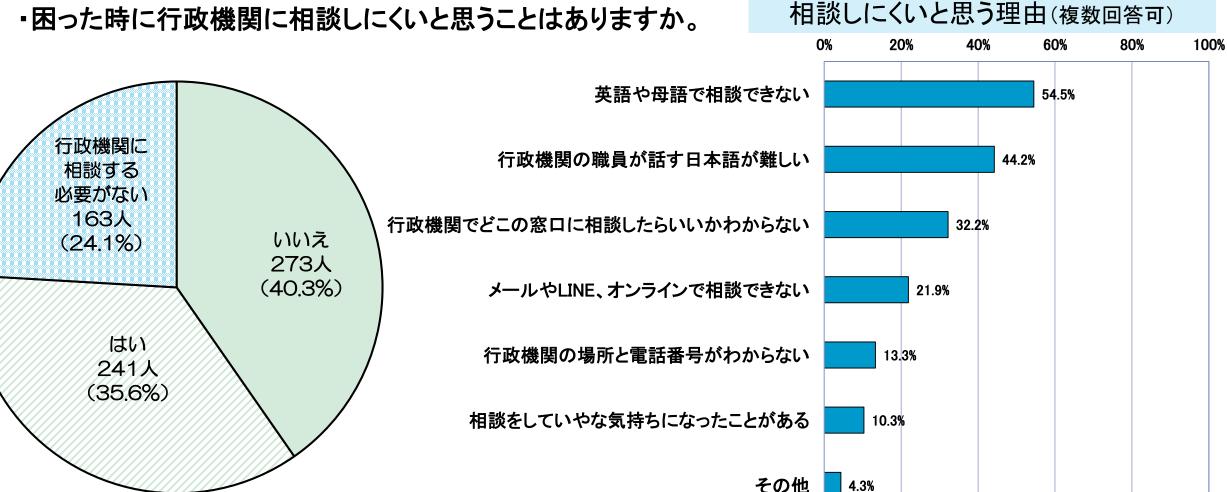
・行政機関からの文書をどの言語で読みたいですか。



※ 別の設問で行政機関からの文書については 70.3%が「とても難しい」「難しい」と回答

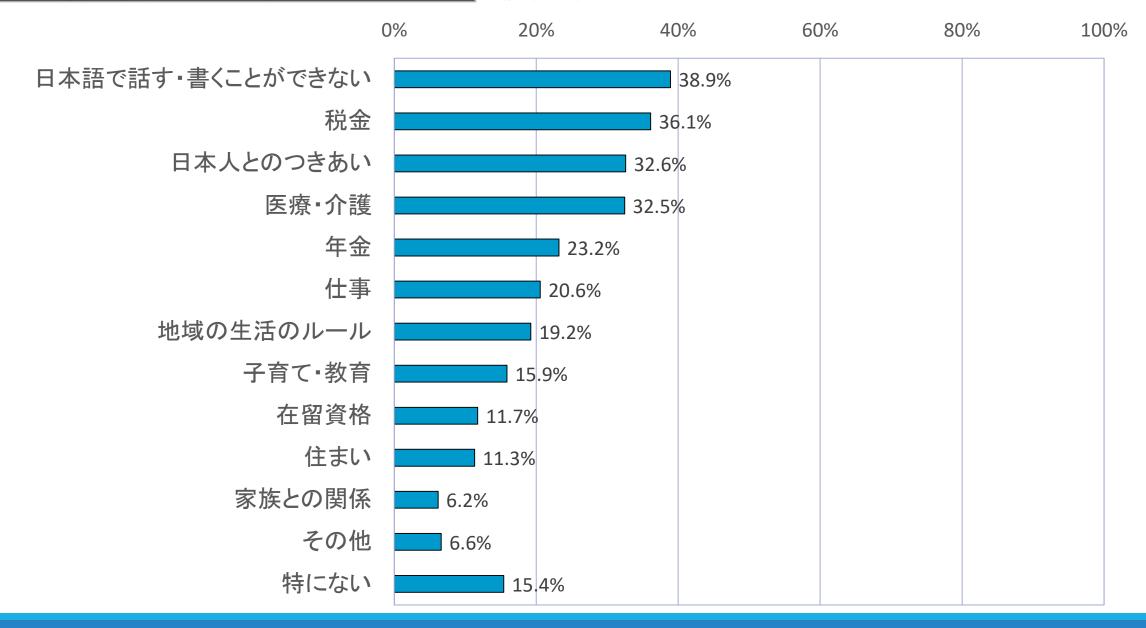
〇行政機関への相談について

困った時に行政機関に相談しにくいと思うことはありますか。

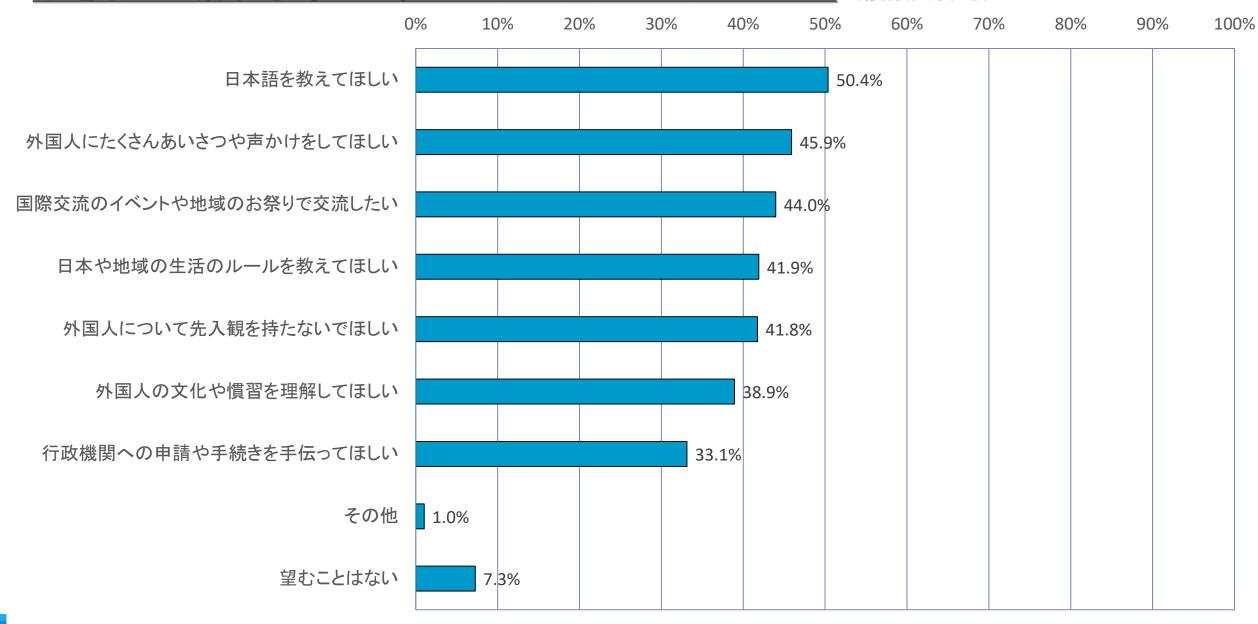


やさしい日本語を「<u>知っている</u>」回答者のうち行政機関に相談しにくい **→32.0%** やさしい日本語を「<u>知らない</u>」回答者のうち行政機関に相談しにくい **→42.1**%

〇生活で困っていることについて(複数回答可)



〇地域で生活する時に日本人にしてほしいことについて (複数回答可)



〇自由記述

- ・外国人が日本や地域のルールを理解するためには、どうしたらいいと思いますか。
 - やさしい日本語と絵や図を使った説明が増えれば、外国人住民は日本や地域のルールをもっと理解しやすくなると思う。
 - 外国人が守ることができていないルールを例示してほしい。
 - 日本人には当たり前だけれど、外国人が知らないルールのポスターを設置する。
 - 外国人住民も自治会などとの結びつきがあれば、地域の生活に適応したり、隣人からルールなどを学ぶことができると思う。
 - 日本語の練習がしたいので、日本人の友達を作りたい。日本人はもっと親しみやすくなってほしい。
 - 日本人と一緒に料理を作ったり話をしたりする機会を作ってほしい。
 - 外国人もボランティアとして、母国の人達が気持ちよく生活できる力になれたら嬉しいと思う。外国人を対象に 多言語で翻訳・通訳をするボランティアを募集したらどうか。